|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 講義科目 | ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ | 授業時間 | | ２０ｍ | 授業担当 | 植田吉祥 | |
| 前提 | HTMLの記述方法、エディタの起動からブラウザのプレビューについては理解済み。  条件判断については未習熟も多い学生が対象。 | | | | | | |
| 概要 | JavaScriptのボタンと手続きの関係について講義を行う。  HTMLにおけるボタンとその他コントロールの作成方法について。  ボタンに紐づけられる関数の作成方法  alert（）関数による文字の表示について解説；制御フローについては、今回は対象外。  【添付物】  プリントによる課題演習を２問行う。  １問目は授業の進捗を反映した演習、２問目は、ステップアップの演習の予定 | | | | | | |
| 内容 | | | 備考・板書項目など | | | | 時間 |
| アイスブレイク(1m)  プリントの準備、授業準備 | | |  | | | | １m |
| 講義内容について  ・目標の提示  ・理解する内容について | | | ・夏休み前の復習  ・最後の演習課題提出に対してのフォロー | | | | 1ｍ |
| HTMLの基礎文法の復習  ・ひな形の提示  ・ひな形の確認 | | | ・HTMLの基礎、Javascriptの埋め込みポイントについての復習  ・ひな形のHTMLを板書して説明 板書（）、説明（）、制御構造の説明は板書右側にメモ程度（） | | | | 3m |
| JavaScriptの文法  ・If文、for文、While文について | | | ※講義では削除予定 | | | |  |
| alert()関数についての解説  ・メソッドの説明  ・括弧の中の文字列が表示される。 | | | ※なぜこの関数(手続き)を話すのかを明確にする。まだボタンを押されて何をするかを明確にしていないから、とりあえずのアクションで埋めていますよということを理解させる。 | | | |  |
| ボタンの設置方法について（HTMLでの記述方法）  ・コントロールの種類について（type）  ・コントロールの名前を付ける（name）  ・コントロールに対するアクション（onClick） ※後述  ・コントロールの表示値について（value）  ・コントロールのサイズなどについてはCSSになるので別途 | | | ・コントロールについては、HTMLの基本としてのタグについてのみ。  ・複雑なコントロールは、jQueryなどの外部ライブラリにゆだねる。当然アクションの実装については同じ扱いになるが、関数とコントロールをどうバインディングするかの問題(そこの認識を明確化させること)  ・時間配分：名前について（）、表示について（）、イベントについて（）、グループについて（）、動作について（）  ・プリント演習と解説 プリントの問題演習と解説は動的に変更する、ここで完結の固定化はしない。 | | | |  |
| 関数の定義  ・関数のパターン（ざっくり） ※細かい部分は、後回し  ・関数のパターン | | | ・ボタンが押されたときの処理については、複数の動作が行われることが多いことを認識させること。  複数の動作を毎回書くのが大変な為、まとまりに対して名前を付けたもの、それが「関数」という認識をさせる。  ・関数の記述方法については、すべてを話すわけではない。次回以降に全体の解説を行うという含みを持たすこと。 | | | |  |
| 関数との紐づけ  ・関数の定義について | | | ・コントロールと関数のバインディングについて。バインディングはHTMLの中で行われることを認識させる。  ・その他の事例は必要に応じて行う。JQueryなどの例は用意はするが話さない。 | | | |  |
| 演習について  ・課題１  ・課題１＋ | | | ・課題のサンプルを準備  ・話した内容で消化できる課題と、知識の補充もしくは考える必要がある問題の２本立て。  ・進捗管理シート：学生のやる気をコントロールするのに実績として使う。  ・学生のパターンは２つ：周りがやっているから進捗は何としても食いついてくる学生、ほんとにやる気ない学生のいずれか。前者のやる気を出させること。 | | | | ５5m |
| 演習の解説 | | | ・課題演習の解説 | | | | 10ｍ |